

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報										整理番号	111									
事務事業名	読み聞かせボランティア養成事業費					補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	05	目	12	事業	05
担当部	教育委員会	担当課	図書館	担当係	奉仕	係														
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称: )					根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: ) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称: )													

2 事務事業の目的		①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。	
現状課題	図書館ボランティアには、小学校・幼稚園・保育所での読み聞かせやブックスタート事業での赤ちゃんに対する読み聞かせを担って頂いている。当該事業は、既にご登録のボランティアのスキルアップと新規ボランティアの獲得を目的とする。 ボランティアの人数不足により、ブックスタート事業においては図書館職員が読み手になっているのが現状であり、新規ボランティア獲得は喫緊の課題となっている。	誰・何を対象に	読み聞かせに興味をお持ちの方を対象とする。
		どのような方法・手順で	フリーアナウンサー等の講師を招き、年2回(入門編・スキルアップ編)の研修会を開催する。併せて、県立図書館の出席講座(県予算)にも申込を行い、研修の充実を図る。
		望ましい状態	当該事業実施により図書館ボランティアに興味を持つ方が増え、当館のボランティアとして登録いただくことで、読み聞かせ(特にブックスタート事業)に携わるボランティア人数が充足している状態。

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。										
指標名	参加率	単位	%	目標値	定員の90%	目標年次	2022	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	個人登録ボランティアの獲得が最終目標ではあるが、まずは来ていただくことが重要なので、参加率を指標とする。										

4 事務事業の実績 ㉠										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。														
年度	2016年度				2017年度				2018年度															
	業務名	活動量			業務名	活動量			業務名	活動量														
事務事業を構成する主な業務	① 読み聞かせボランティア研修会【定員67人】	28人			① 読み聞かせボランティア初心者向け研修会【定員63人】	23人			① 茨城県立図書館出席講座【定員40人】	28人														
	②				② 読み聞かせボランティア上級者向け研修会【定員63人】	20人			② 初心者向け読み聞かせ講座(全3回)【定員40人】	39人														
	③				③				③															
	④				④				④															
	⑤				⑤				⑤															
	⑥				⑥				⑥															
	⑦				⑦				⑦															
	⑧				⑧				⑧															
	⑨				⑨				⑨															
	⑩				⑩				⑩															
	⑪				⑪				⑪															
	⑫				⑫				⑫															
	目標値に対する実績値				42 %				目標値に対する実績値				34 %				目標値に対する実績値				84 %			
決算額	計	34,905 円	内訳	特定財源	円	一般財源	34,905 円	計	69,801 円	内訳	特定財源	円	一般財源	69,801 円	計	69,650 円	内訳	特定財源	円	一般財源	69,650 円			
	(住民一人あたりの行政コスト)				1 円				(住民一人あたりの行政コスト)				1 円				(住民一人あたりの行政コスト)				1 円			

5 担当者評価 ㉡		実施したことによる成果や問題点を記入してください。	
成果	目標未達成	成果内容	2018年度から受講対象者を当館に登録されているボランティアだけでなく、一般向けに拡張。2018年度の講座を機会に新たに2名がボランティア登録者となった。講座を機会として新規ボランティア獲得に結びつきそうである。
問題点			ボランティアの中には、読み聞かせ以外の活動をしており、読み聞かせ研修会への関心が薄い方もいる。それが過去の参加率低迷の理由であった。そこで、対象を一般向けにあらためた。定員を登録ボランティアの人数ではなく研修に相応しい人数ということで40人とした。そのため、2018年度は参加率が上昇している。2022年度には、この算式による参加率を90%にしたい。また、ボランティア不足の解消も引き続きの課題である。

6 担当部長及び担当課長評価 ㉢		担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	ボランティア団体も高齢化が進んでいることから、組織の新陳代謝が必要です。そのためにも、ボランティア養成講座は必須であること。及び講座を開催することで図書館の機能を知ってもらうことができ、図書館のPRにも繋がることから事業の継続は必要である。		

7 実施計画 ㉣										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。									
年度	2019年度				2020年度				2021年度										
事業内容	・茨城県立図書館出席講座 ・初心者向け読み聞かせ講座 ・上級者向け読み聞かせ講座				・茨城県立図書館出席講座 ・初心者向け読み聞かせ講座 ・上級者向け読み聞かせ講座				・茨城県立図書館出席講座 ・初心者向け読み聞かせ講座 ・上級者向け読み聞かせ講座										
成果指標	指標名	参加率	単位	%	目標値	定員の90%	指標名	参加率	単位	%	目標値	定員の90%	指標名	参加率	単位	%	目標値	定員の90%	
予算額	歳出	計			53 千円	歳出	計			53 千円	歳出	計			53 千円				
		特定財源			千円		特定財源			千円		特定財源			千円				
	歳入	一般財源			53 千円	歳入	一般財源			53 千円	歳入	一般財源			53 千円				
		計			53 千円		計			53 千円		計			53 千円				

8 財務アドバイザーの見解	
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。	

9 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。図書館のみならず小学校等でも読み聞かせが実践されている。ただし、ボランティア不足や高齢化など新規ボランティアの獲得が喫緊の課題となっていることから、市として読み聞かせボランティアの組織化など、ボランティア不足の解消に努めていただきたい。	

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉤	
事務事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	読み聞かせ事業は、子どもたちが本に親しんでもらうきっかけとなり喜ばれている事業である。そのため、ボランティア講座は、スキルアップのため必要であるので、現行どおりとする。なお、新たなボランティアの参加を促すような活動も必要である。

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉥		実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。	
事業内容			